

# 据え置きHi-Fiの音づくりを 完全ワイヤレス

# で再現!

意外にもデノン初となる完全ワイヤレスイヤホン「AH-C830NCW」。その特長はデノンの音を知り尽くしたサウンドマスターが手掛けた本格派です。金賞に輝いたサウンドの魅力をご紹介します。



## ノイキャンをかけても 自然なサウンドは不変

VGP審査副委員長 鴻池賢三

「AH-C830NCW」が金賞を受賞した理由は、やはり「ナチュラルな高音質を届けることができる」からです。実のところ、ノイズキャンセリングは音質の調整が難しく、一昔前はツーンとした音を感じるモデルも少なくなく、音質は後回しになりがちでした。

こうした状況に老舗オーディオブランドとして一石を投じたのかデノンです。完全ワイヤレスイヤホンは初参入ながら、ノイズキャンセリングヘッドホンの開発で蓄積してきた知見を余すことなく注ぎ込み、音質調整を行っています。特に人の聴覚だけに頼らずノイズキャンセリングの測定も綿密に行い、音質と消音効果のバランスに注力して調整したという本格仕様です。

実際に試聴すると、ノイズキャンセリング時に感じがちな閉塞感がしっかり抑えられ、使い込むとノイズキャンセリングの介在を忘れてしまうほど快適です。ノイズキャンセリングはフィードフォワード・フィードバックの両方を使うハイブリッド方式を採用し、バックグラウンドノイズを綺麗に消し去ってくれます。さらにノイズキャンセリングのオン/オフに関わらずサウンドキャラクターは変わらず、高解像度で鮮やかなボーカル、レイヤーが幾重にも重なって広がる音場再現能力をキープできるのも流石。違いがわかるリスナーにお薦めしたい「本物」です。

## 機能性にも優れる!

### 3つのマイクを使うハイブリッドANC



イヤホンの内側と外側、それぞれにマイクを搭載してノイズキャンセリングの精度を高めたハイブリッド方式を採用します。また、それらとは別に通話用にもマイクを搭載。クリアな通話ができるのも本機の魅力のひとつです。

### スティック型にして接続安定性も高めた



左右イヤホンの接続が安定するように、全長約25mmにもなる高性能なFP Cアンテナを搭載したスティックタイプを選択しています。ハウジング部にはタッチセンサーも内蔵しているため、曲操作などもサッと撫でる程度で簡単に入ります。



## ほとんどを独自設計して 音質、利便性にこだわった

VGP審査員 折原一也

Hi-Fiオーディオの名門・デノン初の完全ワイヤレスイヤホン「AH-C830NCW」が、VGP2022で部門金賞に輝きました。本機はデノンブランドの「音」を決めているサウンドマスターの山内慎一氏が、開発初期から参加して音質を極めた自信作です。

音質の核となるドライバーユニットは特注品。筐体サイズギリギリの11×10mmという楕円形の大口徑仕様で、振動板の素材にはポリウレタンと剛性が高く内部損失のバランスもよい「PEEK」を組み合わせています。機能面ではハイブリッド方式のノイズキャンセリング機能を搭載。通話性マイクも専用に用意し、ビームフォーミングにも対応します。3Dシミュレーションを駆使した筐体デザインは、24個ものサンプルを比較検討して装着性も追求するなど、全てにこだわっています。

試聴してすぐ、音の「深み」に圧倒されました。中高域の情報量がとて多く、ボーカルの息遣いや楽器のニュアンスまで精密に描写します。低域のパワー感も秀逸で音楽に躍動感を与えてくれます。音の再現性が高いだけでなく、デノンが考える新しい音楽体験とも呼ぶべきでしょうか、通話品質が高いのも特長です。通話相手にノイズの少ないクリアな声を届けてくれます。なお、弟モデルの「AH-C630W」は、ノイズキャンセリング機能が非搭載ですが、同傾向の音質を楽しめますので、予算と用途に合わせて選んでください。

ノイズキャンセリング  
完全ワイヤレスイヤホン

# Denon AH-C830NCW

¥OPEN

SPEC ●通信方式: Bluetooth Ver.5.0 ●対応コーデック: SBC, AAC ●ドライバー口径: 11×10mm ●連続再生時間: 4.8時間(ケース込み19時間) ●質量: 5.3g(イヤホン部)、43g(ケース部) ●付属品: イヤーチップ(S/M/L)、充電用USB Type-Cケーブル



### 卵型のドライバー

振動板の素材はポリウレタンと「PEEK」を採用。特にPEEKは一般的なPETと比較して、高剛性かつ内部損失のバランスが取れた高級素材です。その振動板をできるだけ拡大するため、11×10mmの楕円形状を採用しています。



企画賞

金賞

Bluetooth  
完全ワイヤレスイヤホン/  
ノイズキャンセリング  
(1.5万円以上2万円未満)

## 開発者インタビュー

### サウンドマスターがこだわった スピーカーで感じる「立体表現」

コンセプトはブランドで共通する「Vivid&Spacious」です。音の表情を色彩豊かに生き生きと描き、音の位置関係や空間の広さと高さ、奥行きをありのままに表現することを目指しています。特に立体表現は開発初期からこだわりました。スピーカーで聴く場合は、左右のスピーカーの中央に仮想のセンターの音が生み出されますが、この左右とセンターの間、いわゆる中間領域にもアンビエント感やリバーブ成分が含まれており、それが立体表現に繋がっています。この立体感を頭の中で定位するイヤホンで再現すべく、ドライバーやアンプなどの調整を繰り返しました。全帯域でS/Nや解像感、バランス、質感表現を追求したことが特有の立体再現に繋がっています。楽曲やジャンルを選ばない音ですので、色々な楽曲を楽しんでください。



今回取材に対応して下さったのは...

山内慎一氏  
D&Mホールディングス  
デノン サウンドマスター

## Another Choice

### ノイキャンはなくても デノンサウンドが聴ける



受賞  
Bluetooth  
完全ワイヤレスイヤホン  
(7.5万円以上1万円未満)

完全ワイヤレスイヤホン

# AH-C630W

¥OPEN